

アジア社会科学研究協議会連盟

Association of Asian Social Science
Research Councils (AASSREC)

概要

2021年10月

日本学術会議

AASSREECとは

アジア太平洋地域の社会科学分野を代表する学術団体

設立

1954 ユネスコが南アジアにおける社会科学教育について円卓会議を開催
1973 正式に設立

目的

共同研究、情報交換、相互訪問の促進を通じたアジア太平洋地域における社会科学分野での地域連携への貢献

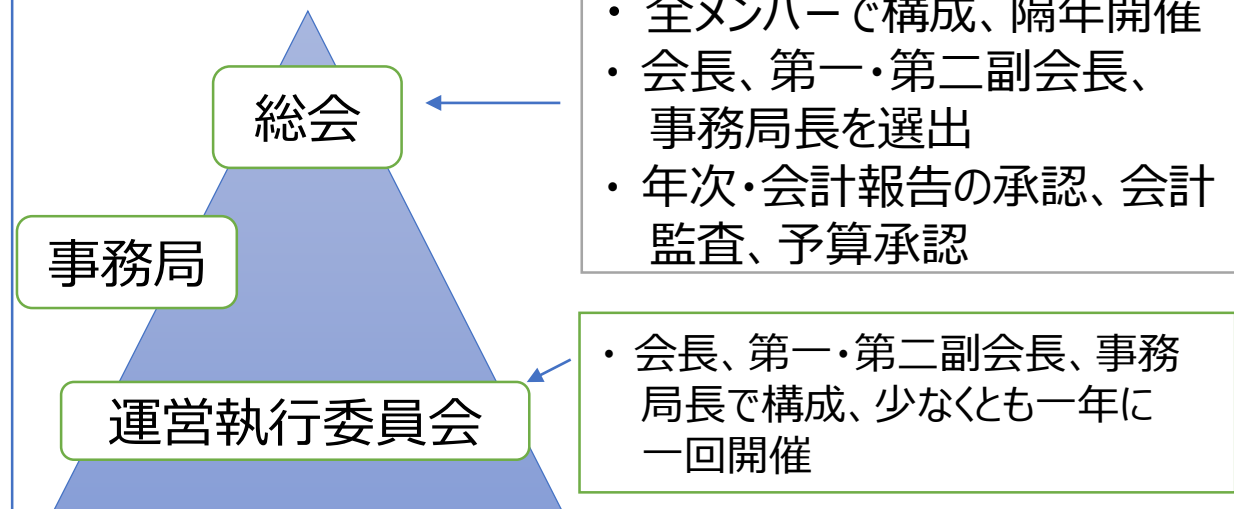
メンバー（1国1団体）

会員：14団体
準会員：2団体

資金

会員団体拠出分担金

ガバナンス



- 全メンバーで構成、隔年開催
- 会長、第一・第二副会長、事務局長を選出
- 年次・会計報告の承認、会計監査、予算承認

- 会長、第一・第二副会長、事務局長で構成、少なくとも一年に一回開催

AASSREECの事業と社会への貢献

ビジョン

- アジア太平洋地域における社会科学の推進

ミッション

- 当該地域の社会科学の連携・発展に貢献する

定常的な事業

- 隔年で総会を開催
 - 各国代表が社会科学の領域を横断する country paper を発表、アジア太平洋地域における今日的課題について討議、成果は出版物・インターネット上で公表
 - 諸活動・プログラムについての情報交換
 - メンバー学術団体による共同研究の企画
- アジア太平洋地域に共通する課題に関する共同研究
- 同地域における社会科学的研究・教育の動向を評価

主な貢献

- 多様な社会を包含するアジア太平洋地域が直面する今日的・先進的な諸課題について、社会科学諸分野を横断する視点から議論を深める重要な機会を提供

例

2021年10月開催の第24回総会ではNavigating the future with and after Covid-19: The role of social sciences in Asia を統一テーマに、5つのセッションで議論を交わす等、今日的な課題に迅速に対応

日本学術会議・日本の科学者による AASSRECへの貢献

組織運営への人的貢献

- ・ 2005-2007年 戒能通厚副会長：AASSREC 会長
- ・ 2007-2009年 戒能通厚副会長：AASSREC 副会長

財政的貢献

- ・ 分担金の拠出

学術的貢献

- ・ 1993年、2007年に日本で総会を開催
- ・ 総会では常に country paper を提出・発表しているほか、基調講演、セッション司会等を担当
- ・ 各活動への参加